

令和元年11月1日

都議会自民党
幹事長 鈴木章浩

2020東京大会のマラソン・競歩会場の変更について（談話）

本日開催された、IOC、組織委員会、東京都、政府の代表者による四者協議において、2020年東京大会のマラソン及び競歩の競技会場が札幌に変更されることが決定されました。

都議会自民党は、招致活動の段階から、今日まで東京大会の成功に向けて全力で取り組んできました。今回の、唐突な競技会場の変更には驚きを禁じ得ません。

東京オリンピック、パラリンピック大会は東京で開催される大会であり、東京で開催するとは、各種競技を都内で行うということです。

競技によっては都内ではなく東京近郊で開催するものもありますが、マラソンや競歩は、参加選手が都民の皆さんが暮らす地域を駆け抜け、懸命に歩くことで、多くの都民が東京での大会開催を実感することが期待されている競技でした。

そして、何より、大会の気運醸成のために様々な取組を展開してこられた方々、コース沿いでの応援を楽しみにしていた多くの皆様、東京都と連携して、各種施策を実施してきた都内区市町村の方々など、多くの皆さまのお気持ちを考えると、本日の決定は、残念でなりません。

しかし、2020年東京大会への準備作業を止めることは許されません。都議会自民党はこの難局を乗り越え、素晴らしい東京オリンピック・パラリンピック大会となるよう、都民の皆様と心を一つに邁進してまいります。